

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	真国川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	紀美野町釜滝、西野	(8) 事業の狙い	事業区間は、現況流下能力が著しく低く、浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し被害の軽減を図る。
(3) 事業名	河川整備	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 想定氾濫区域内資産額 [指標値、現象] 11億円
(4) 担当部課	県土整備部 河川課		
(5) 総事業費	1,500 百万円		
(6) 事業期間	R8～R17(予定)		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 河道拡幅、護岸の整備 [他の事業内容] 河道掘削	[主な事業内容] [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート	紀美野町釜滝、西野	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約320m	
施業目標 (2) への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 治水安全度 [効果の大きさ]	[指標名] [効果の大きさ]
	② 効果発現のポイント	河道掘削等により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	貴志川水系河川整備計画において、河川改修による河川整備を位置付けている。 (特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	大きな被害をもたらした近年の洪水規模での整備水準であり、県内他河川とのバランスからも妥当。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	12,738,900 千円	
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]		
			・ 総便益(現在価値)	12,568,500 千円	
			・ 残存価値	170,400 千円	
			・	千円	
	② 費用	[現在価値合計]	5,722,300 千円		
	③ 分析結果	[費用便益比]	2.23	[純現在価値]	7,016,600 千円
	④ 分析結果に関する特記事項				
	⑤ 参考資料名	和歌川外公共事業再評価検討業務(参考資料)			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当				

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第9条第2項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及び当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対する紀美野町、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
(1) 評価結果	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該箇所は、流下能力が不十分な箇所があり、過去から幾度となく洪水被害に見舞われている。また、地元の河川改修要望も非常に強いことから、総合的にみて妥当と判断。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	日方川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	海南市日方、井田	(8) 事業の狙い	事業区間は、現況流下能力が著しく低く、浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し被害の軽減を図る。
(3) 事業名	河川整備		
(4) 担当部課	県土整備部 河川課	(9) ために用いた主な指標(※1)	[指標名] 想定氾濫区域内資産額 [指標値、現象] 1,525億円
(5) 総事業費	2,300 百万円		
(6) 事業期間	R8～R26(予定)		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 河道拡幅、護岸の整備 [他の事業内容] 河道掘削、橋梁架替、堰の改築	[主な事業内容] [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート	海南市日方、井田	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約3,000m	
(2) への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] [効果の大きさ]	治水安全度 [指標名] [効果の大きさ]
	② 効果発現のポイント	河道掘削等により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	日方川水系河川整備計画において、河川改修による河川整備を位置付けている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 大きな被害をもたらした近年の洪水規模での整備水準であり、県内他河川とのバランスからも妥当。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	165,415,600 千円
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
			・ 総便益(現在価値)	165,282,800 千円
			・ 残存価値	132,800 千円
			・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	11,251,300 千円	
	③ 分析結果	[費用便益比]	14.70 [純現在価値]	154,164,300 千円
	④ 分析結果に関する特記事項			
	⑤ 参考資料名	亀の川外河川整備検討外合併業務(参考資料)		
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第10条第1項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及び当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対する海南市、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
(1) 評価結果	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該箇所は、流下能力が不十分な箇所があり、過去から幾度となく洪水被害に見舞われている。また、地元の河川改修要望も非常に強いことから、総合的にみて妥当と判断。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	芳養川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	田辺市中芳養	(8) 事業の狙い	事業区間は、現況流下能力が著しく低く、浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し被害の軽減を図る。
(3) 事業名	河川整備		
(4) 担当部課	県土整備部 河川課		
(5) 総事業費	2,500 百万円		
(6) 事業期間	R8～R26(予定)	(9) ために用いた主な指標(※1)	〔指標名〕 想定氾濫区域内資産額 〔指標値、現象〕 10億円

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	〔主な事業内容〕 〔他の事業内容〕	河道拡幅、護岸の整備 河道掘削、橋梁架替、堰の改築
	② 主要な事業内容の位置・ルート	田辺市中芳養	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約2,080m	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	〔指標名〕 〔効果の大きさ〕	治水安全度 〔指標名〕 〔効果の大きさ〕
	② 効果発現のポイント	河道掘削等により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	芳養川水系河川整備計画において、河川改修による河川整備を位置付けている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 大きな被害をもたらした近年の洪水規模での整備水準であり、県内他河川とのバランスからも妥当。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	〔現在価値合計〕	6,253,600 千円
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	〔主な内訳〕	
			・ 総便益(現在価値)	6,222,100 千円
			・ 残存価値	31,500 千円
			・	千円
② 費用		〔現在価値合計〕	5,419,400 千円	
③ 分析結果		〔費用便益比〕	1.15	〔純現在価値〕 834,200 千円
④ 分析結果に関する特記事項				
⑤ 参考資料名		和歌川外公共事業再評価検討業務(参考資料)		
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

4.環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5.県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第10条第1項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及び当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6.計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対する田辺市、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7.実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
(1) 評価結果	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該箇所は、流下能力が不十分な箇所があり、過去から幾度となく洪水被害に見舞われている。また、地元の河川改修要望も非常に強いことから、総合的にみて妥当と判断。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	真国川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	紀の川市上瀬洲	(8) 事業の狙い	事業区間は、浸水被害が頻発に発生していることから、河川改修を実施し流下能力を向上させ被害の軽減を図る。
(3) 事業名	堤防改修	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 近年浸水被害のあった家屋数 [指標値、現象] 約5戸
(4) 担当部課	県土整備部 河川課		
(5) 総事業費	100 百万円		
(6) 事業期間	R8～R12		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 護岸工 [他の事業内容]	[主な事業内容] [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート	紀の川市上瀬洲	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約220m	
施策目標 (2) への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 治水安全度 [効果の大きさ]	[指標名] [効果の大きさ]
	② 効果発現のポイント	河道拡幅により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	局所改修であるため (特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	県内同規模程度の河川の整備水準を確保する。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計] 千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳] ・ 千円 ・ 千円 ・ 千円
	② 費用	[現在価値合計] 千円	
	③ 分析結果	[費用便益比] [純現在価値] 千円	
	④ 分析結果に関する特記事項		
⑤ 参考資料名			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第9条第2項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及び当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対する紀の川市、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該箇所は、地元の河川改修要望も非常に強く、浸水被害も頻発に発生していることから、浸水被害の防止・軽減を図る本事業の必要性及び改修の効果が高いと判断するため、総合的にみて妥当と判断。	